

会 議 録

会 議 名	道明寺南幼稚園 住民説明会
日時・場所	平成 30 年 7 月 10 日 (火) 10:00～11:15 道明寺南幼稚園 遊戯室
出 席 者	○総務部 資産活用課 中村課長代理、中川主事補 ○こども・健康部 こども政策課 武廣課長、浜平チーフ、山口主事 ○こども・健康部 保育幼稚園課 白江次長、大家課長代理、 小林チーフ、奥村チーフ
対 象 者	在園児保護者、あひる組保護者、周辺地域住民など 42 名 (当日受付。事前申込なし。)
説 明 内 容	藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画について、在園児の保護者、現在あひる組の申込みをされている保護者、来年度あひる組を考えられている保護者、道明寺南幼稚園近隣にお住いの住民の方々に対し、計画の要旨、事由、概要、今後の流れについての説明を行った。
資 料	○藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画についての保護者説明会 資料
要 録	
部会長	《藤井寺市立幼稚園・保育所のあり方検討部会 部会長挨拶》
事務局	《担当職員紹介》
事務局	資料説明 ：藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画についての概要 《質疑応答》
※	計画に記載されていないので質問したい。3年保育についてどのように考えているか。預かり保育もニーズはあるが、それ以上に昔から3年保育にニーズがある。平成27年度のパブコメ募集の際にも、3年保育について意見が挙がっており、検討するとなっていた。平成30年度になってもまだ3年保育についての考えはないのか。特にこの道明寺南幼稚園では、私立から公立に転入する人や第2子は公立を考える人が多い。その人たちに聞いても、幼稚園を選ぶにはまず3年保育があるところを考えるという。3年保育があれば、迷わずに公立幼稚園を選ぶ。私の話ではあるが、昨年まで関西女子大学附属幼稚園に通っていたが、急なこども園化で現場も混乱していたこともあり、公立に転園した。公立に通って分かったことだが、藤井寺市の公立は、私立に引けを取らない幼児教育の質の高さがある。どの幼稚園を見ても、空き教室がある。なぜ早急に3年保育を検討され

	<p>ないのかと思う。今年度の入園数で道明寺こども園が 20 人を超えているのは、給食があるからであり、私立と同じような魅力を感じられる。なぜこんなにも園児数が減ってしまったのかを考えてほしい。もっと早くから 3 年保育をしてもらえば園児はこんなにも減少しなかった。預かり保育、給食、3 年保育があれば、私立から公立へ確実に園児を取り戻せる。藤井寺市から若い人がいなくなる理由を考えてほしい。魅力ある公立幼稚園があれば他市から住みたいと思う人が増える。他市と比べても藤井寺が遅れている。早急に預かり保育、3 年保育、そして可能な限り給食を考えてほしい。</p>
事務局	<p>園児数については社会情勢が深く関わっている。核家族化や少子高齢化が進み、資料から見ても分かるように保育のニーズが増えている。家で祖父母が子どもを預かってくれる状況ではなくなってきた。実際に、公立も私立も、幼稚園は園児数が減ってきている。やはりニーズそのものが保育の方に移ってきていると考えている。その中で、市としては、預かり保育を実施することで、パートなどで働いておられる方の子どもでも幼稚園で預かれるようにし、就園率の向上を目指したいと考えている。部会の中でも保護者のニーズが高い 3 歳児保育をするべきといった意見もあった。しかし、今回の統合では 3 年保育の実施は計画をしていない。公立の方が良いという方もいれば、一方で、私立を望まれて行かれる方もいる。行政の考えとしては、公立と私立はお互いに協力してニーズを満たしていこうという考え。だからといって 3 歳児保育を公立幼稚園で行わないと決めたのではなく、今後、3 歳児保育や給食、バスなどを実施し、民間と競争して公立を守っていくのか、公立ならではの、例えば障がい児保育などの特色を出していくのかなど、今後のことを決めるには大きな決断となる。公立では就園率が下がっても倒産にはならないが、民間は赤字が出ると倒産してしまうことも考えられる。そうすると私立に通う同じ藤井寺市の子どもの居場所がなくなってしまうことにつながりかねない。3 歳児保育をやらないというのではなく、それを決めるためには、外部の有識者や現場の意見も交えて審議する必要があると考えている。</p> <p>※ 実際に私も週 3 日パートで働いているが、お迎えの 3 時までの時間で十分やっけていけている。預かりがあればありがたいことではあるが。過去に保育所を申し込んだが、パートでは就労時間が足りず入れなかった。パートであれば、3 年保育と預かり保育を実施することで、潜在的な待機児童が少しでも減るということも頭に入れておいてほしい。働いている人が絶対に保育所というわけではないことを知ってほしい。</p> <p>※ 耐震問題について、今子どもを通わせている親としては耐震化できていないと なっていることが気になる。いつ耐震の診断がされたのか。耐震の計画はどのように進めているのか、今地震が起こっても大丈夫なのかという不安もある。耐震に関して聞かせてほしい。</p>

<p>保育幼稚園課</p>	<p>耐震の 2 次診断を平成 27 年度にしている。その結果、道明寺東幼稚園の保育棟と野中分園以外の幼稚園は基準を満たさないとの結果であった。できるだけ早く耐震補強を進めたい思いであるが、まずは義務教育の施設からとなり、今年から幼稚園の番になり 1 園ずつ進めることになる。まず藤井寺南幼稚園で設計に入る。設計には第三者委員会を入れる等から 1 年かかる。工事も子どもの安全を考えると夏休み期間にしかできない。前後の処理については夏休み外になってしまうこともあるが。道明寺南幼稚園は予算がまだ通っていないこともあり、時期は未定。それに合わせて、エアコン設置や老朽化している部分の改修もしていきたいと思っている。</p>
<p>※</p>	<p>各保護者説明会に行かせてもらおうと 3 歳児保育の要望が多い。人口減少を言われているが、藤井寺の人口は他と比べて微減である。これは保育所が充実しており、幼稚園が小学校の数と同じだけあることが子育て世帯にとって魅力で、その結果だと思う。前期計画では 3 歳児保育が書かれておらず、平成 35 年からの後期計画でとなっている。平成 32 年の統合から平成 34 年までの 3 年間で、3 年保育もせず、預かり保育だけで園児は増えるのか。公立幼稚園が統合により遠くなる、保育料だけで見ると同じ私立では 3 年保育や給食や送迎を行っている。そうになると、公立に行かせたくても私立に行かせざるを得ない家庭もたくさんあると思う。公立の果たしている役割は、発達障がい児などの子どもは私立では断られるが、最後は公立が受けもらえる、加配もつけてもらえているということである。公立幼稚園に通わせたいけれど、3 年保育をしてないからいけないという保護者の思いは市として受け止めるべきである。それをせずに就園率が落ち、私立で充足しているからというのは、公的責任の後退につながると思う。35 年からはなく前倒しで 3 年保育や給食、バス送迎なども公的責任でという中身を踏まえて検討してもらいたい。</p> <p>また、公立の保育所についてだが、この地域には第 4 保育所しかなく、民間の保育所もない。新たにふじみ緑地に保育所ができるということだが、ここから毎日通うには負担となる。この地域での保育所の受け皿を拡充してほしい。</p>
<p>※</p>	<p>来年 10 月から幼児教育の無償化と聞くと、実際にどこまで確定した話なのか。</p>
<p>保育幼稚園課</p>	<p>幼児教育の無償化は政府の骨太の方針。これを受けて文部科学省や厚生労働省で制度を決めていくことになる。今は方針のみで、市町村にはまだ何も降りてきていない。</p>
<p>※</p>	<p>いろいろな立場の人、例えば保育所に入りたくても入れなかった人や税金を有効活用してもらいたいという納税者の人らの様々な意見があると思うが、本当に公立に通わせたいと思っている人の配慮が足りていないと思う。平成 32 年度に統合ということで、保護者や子どもたちの生活がどのように変わるのかと不安でしかない。時代の流れで少子化、限られた予算ということで、統合という方向は仕方のないことだとも思う。公立の魅力が幼稚園のお知らせや広報など公立幼稚</p>

<p>事務局</p>	<p>園に入っている人にしか見えていない。現場の先生も含めて今後、どのように公立幼稚園を PR していくかを考えていけないと思うが、そのビジョンはあるか。</p> <p>また、働く方への支援ということで、小学校にいった際、学童の利用者も増えていくと思うが、その対策についてもどのように考えているか。</p> <p>公立幼稚園の今後について、果たしていく役割をしっかりと考えて、PR にも努力していきたい。先ほどからの説明でもあるように今回の統合では3歳児保育の要望には応えられないが、預かり保育のニーズも高いというのは、他の保護者からも実際聞いているので、これから入ってくる人だけでなく、今通われている人についても使いやすい制度だと思っているので、ここのPRは力を入れていきたいと思う。</p> <p>小学校の放課後児童会を含めた子どもの居場所づくりについては、子育て支援拠点事業など施設自体は増えているが、このエリアは設置されていない。保育施設についても第4保育所しかないが、道明寺南エリアには土地がない。以前、小規模保育事業を募集していたが、場所がないということで応募には至らなかったこともある。今回の統合で、人によれば南に統合、東に統合という話があったが、やはり南の地域に何もなくなってしまふのは公平性に欠けるということで、この計画となった。我々としても、子どもの居場所づくりについて何とかしたいという思いはあるが、なかなか有効な打開策がないといった現状である。今後についてもその努力は惜しまずにやっていきたいと思う。</p>
<p>保育幼稚園課</p>	<p>先程も公立幼稚園は質の高い保育をしていると言っていたが、うれしく思っている。しかし、それがなかなか市民に伝わっていかない。市のHPに各園の紹介があるが、在園児の保護者は見るが、初めて見る人や外部の人が見るには分かりにくいということで、日々の活動だけでなく、基本的な情報も載せていかなければならないと、園長と意見交換はさせていただいている。良さは経験しないと伝わらないということで、開いた幼稚園にするため、幼稚園の努力でありひる組をしてもらったりもしている。市としては、待機児童ゼロを最優先で考えており、現状としては予算等もそこに投入されていることもご理解いただきたい。</p> <p>※ 預かり保育について、夏休みも平日と同じ時間帯で実施してほしい。今は夏休みがあり、長期休み前は短縮も多いので、パートもしにくい。そういった理由から、公立を選ばない人もいると思う。</p> <p>今回の統合で道明寺東幼稚園の人が選択とあるが、選ぶのは道明寺こども園だと思う。このままでは道明寺南幼稚園が減る。耐震が道明寺東幼稚園でできているのなら、道明寺東幼稚園に統合の方が良いのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>道明寺南幼稚園に統合する理由として、行政的にどの地域にも公平性をとということで、北側には道明寺こども園があるが、南側には道明寺南幼稚園以外に施設がないことから、道明寺南幼稚園に統合となった。それで人数が増えるかどうか</p>

	<p>については、おっしゃる通り減るかもしれないし、やってみないとわからないが、就園率の向上の施策を実施し、努力していきたいと思う。</p> <p>耐震については、過去の法律では基準を満たしていたが、新しい耐震基準に変わったことで基準が厳しくなり、今の基準は満たしていない。藤井寺市の公共施設ほとんどが昭和 40～50 年代にできたもので、新耐震基準はその後になっており、順番に工事をしていかなければいけない。幼稚園についてもなるべく早く急ぎでしていきたいと思っている。</p>
保育幼稚園課	<p>預かり保育を実際に行っている道明寺こども園では、今年で 3 年目になるが、利用者は増えている。本当は全園でできたらと思っていたのだが、今までなかなか進んでおらず、今回の統合を機に始める予定となった。今では夏休みに預かってもらえないことがあり、第 1 保育所の一時預かりの制度を利用される方もいたが、預かり保育を実施することでそのようなこともなくなると考えている。具体的にどのような運用となるかは、まだ決定はしていないが、道明寺幼稚園については、保育日は保育終了時間から 17:00 まで。保育の無い日は 9:00 から 17:00 までとなっている。こども園では本来幼稚園が休みの日でも開園はしているので受け入れはしているが、幼稚園単体で預かり保育をする場合、代休や創立記念日等に実施は難しいかもしれない。なるべく道明寺こども園スタイルで預かり保育は実施したいと思っている。</p>
※	<p>私は道明寺東幼稚園の保護者で、この計画でいくと年長児に道明寺南幼稚園に転園を考えている。道明寺南幼稚園を統合前に耐震化してほしい。統合することで子どもが増えるのに、耐震化されていない建物で保育されるのは不安である。</p>
保育幼稚園課	<p>どうしても子どもの安全や保育を考えた上でスケジュールをたてると、工事は夏休みとなり、早くて再来年になることをご了承いただきたい。</p>
※	<p>道明寺東幼稚園には、まだあひる組の子どもたちが 16 人程度いる。そんなに急いで統廃合をしなければいけないのか。道明寺南幼稚園の耐震化が終わってからではいけないか。</p>
事務局	<p>他の説明会でもそういったご意見をいただいている。今は計画が案の段階で、パブリックコメントを受け、上層部にも聞いたうえで回答を返すことになるのだが、今の時点では計画案の説明ということになるので、計画年度については、この場で変更しますとは言えない。市としては、基本的にはこの計画年度でいきたいと考えている。</p>
※	<p>幼稚園を決めるのにもう時間がない。パブリックコメントの回答はいつもらえるか。</p>
事務局	<p>7 月末までパブリックコメントは募集しており、予定となるが、8 月中旬頃に</p>

	は回答をしたいと思っている。
※	公共施設再編基本計画では、パブコメの回答、計画策定に3か月ほどかかっていた。市民の声を受けて、予算や人員等を考えられて回答するのなら、半月で間に合うのか。そうしている間に幼稚園の入園説明会になってしまう。考える時間も無くなってしまっは困る。そのあたりもしっかり上に伝えてほしい。
事務局	関係する部会や本部会などの意見を聞いたうえで回答することを考えている。それが期間として長い、短いではなく真摯に受け止め、取り組んでいきたいと思う。
※	8月中旬の回答が難しそうであった場合も教えてもらえるのか。パブコメを出してもらってタイミングや例えば計画が遅れるとなった場合も知らせてほしい。いつ出るのかと保護者が常に待っている状態になる。
事務局	今年度の入園の受付までに、保護者も考えられるように回答を早くというご意見だと思うが、この説明会には関係課も参加しており、保護者の方のお気持ちやご要望も聞かせてもらっていて、内容については認識している。7月末で一から回答を考えていくわけではなく、今もすでにパブコメはいただいているので、なるべく早く進める予定。幼稚園入園案内までには間に合うように努力する。
※	昨日も参加させてもらい、統合で残る園と残らない園での説明会の雰囲気は違うと感じている。意見を聞いていて思うのは、行政のペースに保護者や子どもの気持ちがついていけないと思う。あひる組の子どもにしたなら今通っている場所と違うところに通うことになる。大人の気持ちと子どもの気持ちは全然違う。まだ案ということで言わせてもらうが、1年、保護者や子どもが考える期間があっても良いのではないか。なぜ今年度中に進めないといけなのか。時間がなさすぎるという声を受け止めてほしい。
事務局	同様の声はいただいているが、市としては、今回、この計画の説明に回らせていただいているところ。幼稚園の統合ということでご納得していただくことは難しい問題と思うが、本日は、市の考え方を一定ご説明させていただいた。
※	第1次再編で藤井寺北幼稚園、藤井寺幼稚園の統合年度が違うのはなぜか。この順番になった理由はないのか。
事務局	すべてを一時期に行っていくことは市も工事業者も難しい。統合年度は現在の学級人数を基準に総合的に考え、決まっているが、藤井寺幼稚園については、園舎の一部が、新しい建物でもあることも副次的な理由である。
	【要点筆記】 以上